

日下部吉彦さん、どうぞ安らかに。

去る 2017 年 12 月 30 日、音楽評論家の日下部吉彦さんがお亡くなりになりました(90 才)。日下部さんは、「いずみホール ランチタイムコンサート」の発案者であり、1992 年 7 月の第 1 回から 2017 年 6 月 14 日の第 100 回を満了として勇退されるまで、企画・構成・お話を担当されました。この企画はスタート当初より毎回完売となる人気シリーズとなり、今では日本各地で盛んに行われている昼間のコンサートの草分けともなりました。お客様のニーズをつかまれている日下部さんならではの、独創的な企画でした。

100 回にわたってジャンルをこえた演奏家がこのシリーズに登場し、演奏をお届けするとともに、日下部さんの軽妙で洒脱、そしてあたたかいインタビューで紹介されました。

このたびのご逝去の報に接し、いずみホール・スタッフ一同、心から哀悼の意を表します。そして、いずみホールと多くのお客様を強く結びつけてくださった日下部さんに、深く、感謝の気持ちを捧げます。

いずみホールは、日下部さんがメッセージとして遺してくださったことば「お客様を大切にし、壁をつくらない、そのことを大事にしてほしいですね」(ランチタイムコンサート第 100 回に際して、いずみホール情報誌「Jupiter」2017 年 2, 3 月号インタビューより)を胸に、ご遺志を継いでいきます。

ご冥福をお祈りいたします。

2018 年 1 月 4 日



最後のランチタイムコンサートを終えて、客席に大きく手を振って退場される日下部吉彦さん。2017 年 6 月 14 日  
撮影：樋川智昭